

令和6年度 第2回尾張東部教科用図書採択地区協議会 議事録

- 日 時 令和6年7月5日（金）10:00
- 場 所 長久手市公民館 研修室
- 出席者 協議会委員 33名 研究部長 13名 （欠席2名）

1 開 会

- 開会宣言

2 会長あいさつ

- 尾張東部教科用図書採択地区協議会会長よりあいさつ
 - ・ 本日の会議は、教科書採択の公正確保のため、非公開で行うことを確認する。
 - ・ ここに至るまでの経過を報告。
令和6年5月8日（水）と5月21日（火）に本協議会の研究員打合会を開催し、その後、教科用図書について研究。
 - ・ 本日、その研究成果を報告するとともに、委員の協議により、本地区の子どもたちにとって一番ふさわしい教科用図書を選定していきたい。

3 協議方法について

- 選定の方法
 - ・ 協議会の会議において、委員全員の一致によって決まる。
- 資料の確認
 - ・ 愛知県令和7年度使用義務教育諸学校教科用図書採択基準
 - ・ 尾張東部教科用図書採択地区協議会選定資料
- 協議進行の手順
 - ・ 研究部長より、選定資料をもとに各教科用図書の説明
 - ・ 研究部長に質疑
 - ・ 研究部長退席後に、協議・選定

4 教科部長報告及び質疑、協議

- 中学校国語の報告
 - ・ 見本本の送付のあった東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。
 - 中学校国語の質疑
 - ・ 情報活用能力の育成とICT活用教育の推進について、特筆すべき内容はあったか。
- どの教科書会社も、情報活用能力の育成、ICTを活用した個別最適な学び、協働的な学びの実現を意識した題材が掲載されている。特に、光村図書はタブレット端末の縦置きにも対応した紙面構成が

されており、後見返しに「ICT活用のヒント」として活用場面等を学習過程に沿って示す工夫がされている。

- ・ 語彙力を高めるための教材の工夫は見られるか。
- どの教科書会社も、デジタルコンテンツに言葉リストを掲載したり、他教科の学習や日常生活にいかせる言葉をまとめたりと、語彙を豊かにするための教材が工夫して設定されている。中でも、光村図書は、「語彙ブック」を取り入れ、用例やイラストで分かりやすく言葉を学ぶことができる。
- ・ 発達段階や系統性を意識した教材の配列について、配慮は見られるか。
- どの教科書会社も系統性をもたせた教材の配列を意識し、各領域をバランスよく学べるよう配慮されている。デジタルコンテンツも豊富で、読書や漢字、言葉などそれぞれに魅力的な資料が多く掲載されている。光村図書のデジタルコンテンツには、ミニレッスンや力試しの問題が取り入れられ、自らの学びを広げたり活用したりできるよう工夫されている。

○ 中学校国語の協議

- ・ 内容の程度で言うと、光村図書は「学びのカギ」で目指すべき資質・能力が図解され、発達段階や系統性に配慮している。また、言の葉ポケットや語彙ブックなどの言葉に関する資料により、語彙力を高める工夫がされている。全体は「本編」「学びを深める」「資料編」の3部から成り、学習の持続性を考慮し、軽重をつけバランスよく配列されている。
- ・ どの会社も、学習指導要領の趣旨をよく踏まえ、国語の各領域について、系統立てて教材が配置されていることはよく分かった。特に、光村図書は、主体的に学習に取り組むための方法や教科書の機能が明確に示されている。合意形成に向けた話し合いの仕方等を教材として取り上げ、対話の力を築くための工夫がなされている。情報とSDGsが関連付けられた教材では、社会の問題を自分のこととして捉えるとともに、課題解決に挑む力を育むことができる。
- ・ あいちの教育ビジョンにもあるように、自ら学びに向かう教育を充実させ、自己の可能性を伸ばす力を育むことが大切である。そのために、主体的・対話的で深い学びの推進やICTを活用した個別最適な学びと社会とつながる協働的な学びの実現が必要である。光村図書は、時代に即した新しい学びの形がどの学年でも分かりやすく工夫されており、ICTをどの場面で利用するのが効果的なのか、把握しやすいようにも工夫されている。どの活動で自らを高めるのかが明確で、見通しをもって学習に向かう構成となっている。これらのことから考えて、光村図書を選定してはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で「光村図書」のものを選定する教科書として決定。

○ 中学校書写の報告

- ・ 見本本の送付のあった東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。

○ 中学校書写の質疑

- ・ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されていることが大切だが、この点はどのように扱われていたか。
- 各社とも、基礎・基本となる書写の知識・技能を習得し、幅広い知識と教養を身につけることができるよう配慮されていた。また、生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう、構成や内容の配置に工夫が見られた。

- ・ユニバーサルデザイン化に向けた取組がされている中で、どのような配慮がされていたか。
- 各社とも、本文の文字を太く見やすいフォントで書き表したり、学年や学習内容によって色を使い分けたりと、見やすく分かりやすい工夫がされている。レイアウトも一瞥しただけでも分かりやすいように、重要な文字を囲んだり、学習活動の順を数字や図で表したりする配慮もされている。各社とも教材文字のポイントを動画で紹介するようになっており、書写でもICT機器を活用できるように工夫がされている。
- ・愛知の教育ビジョン2025の基本理念にあるように、自分らしさを大切にすることや、多様な文化を理解し尊重することは重要である。この点については、どのように取り扱われていたか。
- 各社とも、手書きの良さを考えさせたり、全国の様々な地域の文字文化や伝統行事を取り上げたり、身近にある文字を見つめさせたりすることで、自分らしさを大切に、多様な文化を尊重する人間を育成できるよう工夫がされている。
- ・デジタルコンテンツの特色や違いについて、詳しく教えてほしい。
- 各社の映す位置にやや違いがある。教育出版は、真上から映す、従来からよくある感じになっている。光村図書は、今回は、真上からと、斜め横からの視点が加わっている。どこも工夫はされているが、上から撮影の出版社が多い。

○ 中学校書写の協議

- ・4社それぞれ、身の回りの文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことを大切に活動を取り入れている。生徒が主体的に取り組むことができるように工夫されている点は評価できる。特に光村図書は、学習の進め方が「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3つのステップで分かりやすく示されている。また、ワークショップ形式で、新しい学習内容に対し、興味付けができるよう工夫されている。よって、生徒が主体的に学習に取り組めると考えられる。
- ・どの会社も毛筆と硬筆を関連させて効果的に学習できるようにしている。学んだことを実生活で活用できる力が身につくようにしているのはよく分かる。特に、光村図書は、「書写ブック」を活用することで、硬筆と毛筆の関連を意識させるだけでなく、既習内容を補充・発展させることもできるようになっている。書くことの意義について分かりやすく示されており、書く力を身に付けることができるようにも工夫されている点でも、高く評価できる。
- ・書写においては、言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養うことが大切である。光村図書は、基礎・基本の定着を大切に、さらに現代に合った形で言語文化に親しめるように構成されて、日常生活に生かすような単元の工夫が感じられる。生徒自身が考えながら学習を進められるようになっており、言語感覚を豊かにし、学びに向かう力などの生きる力を支える能力を養うことができるように工夫されている。令和7年度は、光村図書を選定してはどうか。
- ・協議の結果、全員一致で「光村図書」のものを選定する教科書として決定。

○ 中学校社会の報告

- ・地理的分野については、見本本の送付のあった東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の4社について、歴史的分野については、見本本の送付のあった東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、自由社、育鵬社、学び舎、令和書籍の9社について、公民的分野については、見本本の送付のあった東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社の6社について研究し、報告(学

習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等)。

○ 中学校社会の質疑

- ・ 見方・考え方を働かせる工夫がされているか。
- 各社とも見方・考え方を働かせる工夫がされている。特に、東京書籍は、各単元の冒頭で見方・考え方を働かせる場面を設定し、1単位時間の学習内容をまとめるチェック&トライにより、思考力・判断力・表現力が高められるよう工夫されている。また、多様な思考ツールを活用して考察するまとめの活動を設定し、学びを深められるようにしている。
- ・ デジタル教材の活用について、どのような工夫がされているか。
- 一部の会社を除き、各社とも、デジタルコンテンツなどを利用した資料が豊富である。特に東京書籍は、内容の理解につながる動画やシミュレーションなど、学校でも家庭でも学習しやすいように工夫されており、令和の日本型教育の推進が感じられた。また、導入、展開、まとめという単元の学習の流れの中でデジタル教材が活用できるように、コンテンツが用意されている。
- ・ 教科等横断的な学習の充実といったカリキュラム・マネジメントに努めることにつながるが、どのように対応しているか。
- 各社とも十分に対応しているが、東京書籍は地理・歴史・公民の各分野の視点から多面的・多角的に考察する力を育てるために、3分野の関連を強化している。他分野での学習と特につながりの強い内容には分野関連マークを付けたり、他分野の関連する紙面を直接参照できる二次元コードが随所に掲載されたりしている。

○ 中学校社会の協議

- ・ 社会科においては、社会的な問題を自分事として捉えることが大切だと考える。東京書籍は、我が国や国際社会の現代的な諸課題を取り上げ、主権者意識や消費者意識を高めたり、国や地域の歴史・文化・風土などに関心を持つことができるように配慮されている。よりよい社会の在り方について、解決策を他者と協働しながら構想できるように工夫されている。具体的な課題を通して、課題追究学習を実践することが、あいちの基本理念「自らを高め、社会の担い手となること」にもつながる内容になっている。
- ・ どの出版社も主体的に社会に参画する態度を養う工夫がされている。主体的に社会に参画する態度を育む工夫がされる中で、同時に国際社会に生きる子どもたちには、文化の違いや共存の仕方を学んでいく必要がある。特に、東京書籍は、多国籍の人々が暮らす町を取り上げ、多文化共生に向けた意識を高められるよう工夫されている。世界的な視野を広げることができるとともに、持続可能な社会の形成に向けて学んだことを社会に生かそうとする態度を高める工夫をしているという点で高く評価できる。
- ・ どの教科においても、様々な事象をつなげて自分事として考えることが知識を深める上で重要。3分野ある社会科では、そこをより重視したい。三年間の社会科学学習を貫く5つのテーマについて、3分野共通の題材や分野をまたがる共通の資料を扱い、多面的・多角的な学習ができるように工夫されている東京書籍は、ふさわしい教科書だと言える。また、分かりやすい記述や豊富な資料を基にした学習内容で構成されている。基礎的な知識・技能を系統的に習得させる工夫もされており、学習に必要な技能を定着できる工夫が見られる。令和の日本型学校教育の推進に向け、二次元コードをクリックするだけの操作でデジタルコンテンツが用意されているのも東京書籍の良さであると思う。他の会社もそれぞれ良さはあるが、地理、歴史、公民の3分野どれも東京書籍を選定してはいいかがか。
- ・ 協議の結果、全員一致で、地理、歴史、公民の3分野どれも、「東京書籍」のものを選定する教科書とし

て決定。

○ 中学校地図の報告

- ・ 見本本の送付のあった東京書籍と帝国書院の2社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。

○ 中学校地図の質疑

- ・ 身近な地域を学習するための配慮には、どのような特徴があったか。
- 東京書籍の地図は、愛知県内の自動車工業を中心としたつながりについての詳しい資料とともに、近年注目されている航空産業の資料が掲載されている。その他の資料は中部地方全体で一括した資料となっている。帝国書院の地図は、東海地方における工業や農業の様子についての資料とともに、名古屋市周辺の工業の詳しい資料が掲載されており、自分たちが住んでいる地域の産業について知ることができる。輪中の資料もあり、あいちの伝統・文化とともに、防災の取り組みについても学ぶことができるようになっていく。
- ・ どちらの地図帳もデジタルコンテンツが充実しているとのことだが、違いは何か。
- 東京書籍の地図帳は、デジタルマップや解説動画などのコンテンツが豊富。教科書の紙面が収録されているため、授業で活用しやすく、学習効果を高めることができる。帝国書院の地図帳は、生徒が主体的に学習に取り組むために活用しやすいデジタルコンテンツが充実している。また、アニメーションを活用したり、リンクから他資料につなげることができたりするという工夫がみられた。
- ・ 防災・減災についての取扱には、どのような違いがあるか。
- 東京書籍は2ページを使って、自然災害とその備えについて掲載されている。その中でも倉敷市真備地域のハザードマップが大きく、見やすく印刷されている。東日本大震災については、東北地方のページで被害状況と震災後の復興の様子について掲載されている。帝国書院は、自然災害・防災で4ページ使われ、地震・火山と気象災害に分けて掲載している。そして、見開きで日本列島がどのようなプレートの上に位置しており、災害が起こる仕組みについて分かりやすく示されている。東日本大震災については防災のページと東北地方のページで被害状況と震災後の復興の様子について掲載されている。特に、復興に伴う変化については絵で示されており、子どもたちにも捉えやすくなっている。
- #### ○ 中学校地図の協議
- ・ 地図を用いた学習を考えたときに、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うことが大切である。東京書籍の二次元コードで地球儀が平面上に映る機能は、大変よい機能である。しかし、帝国書院の地図帳は、5色刷で見やすく、歴史や公民、SDGsに関連する内容が数多く掲載されており、発展的な学習に取り組めるような構成がされている。また、今日的な課題や最新の話題について取り上げられている。数多くの資料が掲載され、興味をもって学習し、課題解決できるように工夫されている。総合的には、帝国書院の方がふさわしいのではないかと。
 - ・ 学習指導要領では、社会的な見方・考え方を働かせ、課題解決を通して、広い視野での公民としての資質、能力の基礎を育成することを目指している。帝国書院は、地理・歴史・公民と関連させて学習できるようになっており、社会的事象を多面的・多角的に考察する力を育めるようになっていく。二次元コードを通して学習できるコンテンツも多数収録され、生徒の主体的な学びや個別最適な学びを実現できるよう考えられている。

- ・ 2社とも高いレベルにある。両社とも、世界の様々な地域の特色について分かりやすく掲載されている。地図帳は、資料として使用することが多い。見やすさ、使いやすさが重要である。今日的な課題に向き合うことができるかどうか、探求学習への活用ができるかどうかなどの観点も選定の基準になる。帝国書院の地図帳は、グローバル社会の中で生きていく上で必要なSDG s に関わる資料が充実しており、外国と日本との結びつきや環境問題との関連、防災など世界的視野で持続可能な社会の実現について考えられるように工夫されている。地図帳は、帝国書院を選定してはどうか。
 - ・ 協議の結果、全員一致で「帝国書院」のものを選定する教科書として決定。
- 中学校数学の報告
- ・ 見本本の送付のあった東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、教研出版、日本文教出版の7社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。
- 中学校数学の質疑
- ・ 学習指導要領では、新しい時代を生きる子どもたちに必要な力が3つの柱として整理されているが、数学科の教科書では、どのように反映されているか。
- 各社、順序良く読み込んでいけば、理解の定着が図れるようになっており、思考力等が高められ、反復練習により、確かな学力を身に付け知識・技能が習熟できるようになっている。また、対話的活動により、教えたり教えられたりすることから、共に学力を高めることになり、お互いの人間性の研磨につながっている。
- ・ 数学的な見方・考え方をもとに、数学的に考える資質・能力を育成することが大切だが、教科書の中にどのように反映されているか。
- 各社、問題を解決する場面で考える手がかりとなるように、課題に対する見方・考え方が工夫して記載されている。特に、啓林館では、問題発見・問題解決の2種類の標識が効果的に配置されており、繰り返し目にしたり、改めて振り返ったりすることで、数学的な見方・考え方が自然に体得できるように作られている。数学の学習だけでなく、他教科の学習や生活の中でも役立つ生きる力が育まれると考えられる。
- ・ 今回の検定教科書において、これまでとの違い、特徴的なことは何か。
- SDG s、キャリア教育、防災教育、環境教育、伝統や文化など様々な教育課題への対応を意識した題材が多く盛り込まれていた。また、他教科を意識した題材も配置され、教科横断的な学習が自然と進められるようになっている。デジタルコンテンツによって、問題の解説動画を見ながら音声で丁寧に解説してくれるので、学校以外の場でも学習を進めることができる。デジタルコンテンツによって、ページ数、重さを減らし、内容は充実させている。
- ・ デジタルコンテンツの特徴などはあるか。
- どの会社も充実して配置されている。図やグラフなど、活用できるようになっている。選定資料には、特に特徴のあることだけ記載した。
- 中学校数学の協議
- ・ 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成していくことが求められている。各社の教科書において、問題解決の手がかりや方向付けとなる数学的な見方・考え方が随所に記され、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。特に、啓林館では、学びを広げる場面や問題を解決する場面で役に立つ考え方であることが表示されており、数学的な見方・考え方であるとともに、他教科の学習や

生活の中でも役に立つ生きる力につながるように工夫されている。

- ・ 啓林館の教科書は、「学びをたしかめよう」で知識・技能が身についたかどうか、「学びを身につけよう」では思考力・判断力・表現力を伸ばせるような2部構成となっている。また、身に着けた知識・技能や思考力・判断力・表現力を利用し、数学的な見方・考え方を働かせて問題を解決することによって、学んだことのよさが実感されるように、すべての単元が工夫されている点が評価できる。
- ・ どの教科書も、学習指導要領に示されている資質・能力の3つの柱が意識されている。確かな学力と実社会での問題解決にいかしていく力が育まれるよう、編集されている。その中で、啓林館は、SDGsやキャリア教育、環境教育等に関連した問題を取上げ、日常生活と数学を関連付けて考えられるような内容となっており、主体的に取り組めるような構成になっている。学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びが重視されていることから、啓林館の教科書は、多様な考えに触れたり、筋道を立てて説明したりする場が設定されており、対話をしながら深い学びへつなげられるように編集されている。また、デジタルコンテンツで補充問題が取り組めるようになっているため、反復練習することで、基礎・基本の定着を図ることができるよう工夫されている。総合的に考えて、啓林館の教科書を選定してはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で「啓林館」のものを選定する教科書として決定。

○ 中学校理科の報告

- ・ 見本本の送付のあった東京書籍・大日本図書・学校図書・教育出版・啓林館の5社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。

○ 中学校理科の質疑

- ・ 生徒の学ぶ意欲を引き出す教科書という観点ではどのような工夫があったか。
- どの教科書も章導入では、不思議な現象や興味深い現象の写真を掲載し、問いかけからスムーズに学習に入れるよう工夫されていた。特に東京書籍では、AB版の大きさを十分に生かしたダイナミックなビジュアルやスタート動画を通して、生徒の等身大の疑問から探究が発端でき、興味・関心が持続・連鎖するような工夫がされていると感じた。
- ・ 科学的な探究のしやすさという観点での違いはあったか。
- いずれも科学的な探究の過程が図やフローチャートなどで分かりやすくなっていた。また、探究をさらに深める問いかけや対話などが掲載されており、生徒同士が対話しながら協働的に学ぶことができる工夫がされていた。特に東京書籍では、探究の段階を言語化し、見やすいアイコンで示すとともに、フローチャートで探究の流れが確認できるようになっており、生徒が自ら探究を進めることができるように工夫されていた。
- ・ グローバル社会で多様な人々と協働的に活躍するための力を育むという点での工夫はどのようなであったか。
- どの教科書会社もSDGsや自然災害、環境保全などの地球規模の課題についてのコラムや話題が多くなっていた。中でも東京書籍の「お仕事図鑑」や「社会につながる科学」は、理科の学習がどう社会と結びついているか、また理科を学習することの有用性を実感できる内容となっている。生徒自身がグローバル社会の担い手としての意識を育めるような内容が多いと感じた。

○ 中学校理科の協議

- ・ どの会社もよく工夫がされている。東京書籍は、主体的・協働的に探究する学習の過程を通して、意識し

て、理科の見方・考え方を働かせ、思考力・判断力・表現力を育成できるように工夫されている。また、実験・観察の行いやすい時期や科学的概念の形成に配慮した編集がされており、各章の配列や関連づけが適切である。多様なデジタルコンテンツへのアクセスが工夫されており、個別最適な学習が可能な構成となっているのも良い。

- ・ どの会社も、身近な事物・現象と関連した観察や実験、課題を取り入れているが、東京書籍については、導入や章末において、身の回りの事象について考えさせる場面を設けている。主体的に学習に取り組めるようにするとともに、学習前後に同じ問いかけを設定し、自身の成長を実感できるよう工夫もされている。また、学んだことを日常生活や社会につなげる読み物や活動を設定しており、理科を学ぶ意義や有用性を感じられるよう編集されているところが評価できる。
- ・ 技術が発達し続ける現代において、身の回りの事象について考えさせ、課題を自分の問題として目的意識をもたせることは重要な意味をもつ。東京書籍は、優れた科学技術や身近な科学とのつながりに関する記述が充実し、理科の有用性や職業との関連に触れるとともに、物事を多面的に捉えられるよう工夫されている。また、安全に関する記述に視認性の高いマークや赤字で示すなど安全面で配慮され、本文と諸表・資料などがバランスよく配置されている。さらに、学習の場面ごとにデジタルコンテンツの活用を選択できるなど、多様な学びに対する工夫がされている。以上の理由から、理科の教科書として東京書籍を選定してはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で「東京書籍」のものを選定する教科書として決定。

○ 中学校音楽の報告

- ・ 音楽一般、器楽合奏ともに見本本の送付のあった教育出版社・教育芸術社の2社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。

○ 中学校音楽の質疑

- ・ タブレット端末を活用する工夫としてどんなことがあるか。
- 両社ともにデジタル教科書やデジタルコンテンツが充実している。随所にデジタルコンテンツを掲載し、演奏の動画や創作の動画を視聴することができる。教育芸術社では、教材に関連する動画だけでなく、巻頭の著名人のメッセージ動画や歌唱教材のパート別音源、鑑賞曲の楽譜例の同時再生など、より豊富なコンテンツで個別最適な学びへの工夫をしている。
- ・ 器楽分野における主体的・対話的で深い学びに迫る工夫としてどんなことがあるか。
- 両社ともにアプローチは違うが、学びのポイントや学習課題が明示されており、興味・関心に配慮した教材が選択されている。教育出版社は基本技能を身につける学習とまとめの楽曲の学習が分かれた構成になっており、主体的に取り組めるよう工夫している。また音のスケッチでは音楽を形づくっている要素と関わりながら音楽表現を高めることができ、他者と協働しながら演奏・創作できるようにしている。
- ・ あいちの教育の基本理念との関連はどうか。
- 教育出版社では、あいちの教育ビジョンにある、SDG s の理念を踏まえた教育の推進とふるさと教育の推進を受け、SDG s と関わりのある教材を取り上げたり、我が国の伝統音楽と諸外国の音楽文化を関連付けて取り上げたりしている。教育芸術社では、あいちの教育の教育ビジョンにある、ふるさと教育の推進と多文化共生に向けた教育の充実を受け、伝統芸能に携わる中学生の様子を掲載したり、世界の民族音楽やポピュラー音楽のジャンルを写真とともに多数掲載したりし、興味関心をもちやすい。

○ 中学校音楽の協議

- ・ 音楽一般では、教育芸術社が学習指導要領に示された三つの資質・能力とそれに対応する学習内容や教材が分かりやすく記されており、各教材を通して、どのような音楽の力を身につけられるのかを確認することができ、学ぶ側にも指導する側にも見通しがもちやすい。活躍する著名人の言葉やメッセージ動画のリンクを掲載することで、自ら考える力を引き出し、幅広い価値観を持って活動に取り組めるよう配慮されていることも評価できる。
- ・ 器楽については、教育出版により魅力を感じる。音楽を形づくっている要素を関わらせた題材が示され、主体的、協働的に取り組める教材が選択されているところがよい。また、最初に提示された題材を実現するために、過程となる各楽曲、まとめの曲で活動のポイントがあり、見通しをもって主体的に器楽の活動ができるように工夫されている点が良い。
- ・ どちらの教科書会社もそれぞれの分野で特色があり、評価できる。音楽では、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力の育成が大切である。「音楽一般」では、教育芸術社が、学校生活の中の音を探る題材や季節感、生徒が共感しやすいような歌詞が盛り込まれた楽曲など、発達段階や興味関心を考慮した楽曲が多く取り入れられ、音楽の多様性を理解できるようにする工夫がされている。一方「器楽」では、教育出版が幅広いジャンルから親しみやすい楽曲が精選されている。また、諸外国の楽器を学習するだけでなく、人々の生活との関わりを意識した扱いとなっている。SDGsについて具体的に示すことで、国際理解教育につながるよう配慮されている。以上のことから考えて、「一般」は教育芸術社、「器楽」は教育出版を選定してはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で一般は「教育芸術社」、器楽は「教育出版」のものを選定する教科書として決定。

○ 中学校美術の報告

- ・ 見本本の送付のあった開隆堂、光村図書、日本文教出版の3社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。

○ 中学校美術の質疑

- ・ 内容の構成や配列について各社の工夫や特徴はどのようなものだったか。
- 各社とも、表現と鑑賞の関連を重視し、一体化を図ることができる構成になっている。開隆堂は、1年では、全指導事項の定着を図り、2年及び3年では二年間を見通して学年間の関連を図るように構成されている。光村図書は、1年では図画工作とのつながりを考え、2・3年では身につけた資質や能力をさらに深め、歴史や社会との関係に視野を広げるなど、内容の系統性や学年の発達段階に配慮した構成になっている。また、3学期制、2学期制どちらにも対応できる題材数、領域のバランスを工夫している。三年間必要とされる知識や技能を支える資料は、1冊にまとめてられている。日本文教出版は、三年間の発達の段階に応じて学びが獲得でき、さらに深められるよう、系統に配慮して配列されている。美術1では新しい見方や感じ方との出会い、美術2・3上では美術の学びを実感、美術2・3下では自分らしい価値観の形成を重視した内容になっている。
- ・ 学習指導要領の目標に示された資質・能力の育成を図るために各社の工夫は何か。
- 各社とも、学習指導要領に応じた各題材の学習目標が分かりやすく具体的に設定されている。開隆堂は生活や社会の中の優れた美術や美術文化を幅広く取り上げ、生徒自らが主体的に学習に取り組むことができるような学習の方法を中心に構成されている。また、見方・考え方について対象をとらえる視点や考

え方を学ぶことを目的として、よさや美しさなどを感じ取る感性や想像力を働かせて、自分としての意味や価値を作り出すことができるように導く学習のポイントが示されている。光村図書は社会における美術の働きや、生活の中のデザインの役割などを提示し、美術の学びと実生活、実社会とのつながりが実感できるよう配慮されている。また、生徒の制作における試行錯誤の過程を紹介したみんなの工夫や生徒作品に添えられた作者の言葉などが掲載され、同年代の考えを共有することで、生徒自らが主体的に粘り強く学習に取り組む態度が育まれるよう配慮されている。日本文教出版は、造形的な視点について理解が深まるように、題材の学びの目標や主文、鑑賞の入り口において、造形的な捉え方ができる文言が工夫されている。また、発達の段階に応じたテーマで鑑賞できるようにオリエンテーションや特設ページが設けられている。

- ・ 主題を生み出す発想や構想の手立てについて工夫されていることは何か。
- 開隆堂出版は、アイデアスケッチや活動写真、生徒作品の他に、気づきへと導くキャラクターが随所で登場し、生徒目線で発想や構想のヒントを示している。光村図書は、初期の発想から完成までのプロセスが重視され、写真や矢印などで分かりやすく掲載している。作者の言葉に加え、作者のインタビュー動画もあり、発想や構想のヒントが丁寧に紹介されている。日本文教出版は、活動の様子が分かる写真や思考のプロセスが見えるアイデアスケッチを多数掲載し、具体的な手立てが示されている。また、多彩な表現が分かる作家や生徒の作品とともに工夫したポイントが示された作者の言葉を掲載している。
- 中学校美術の協議
 - ・ どの会社も印刷が鮮明であり、作品の質感が分かりやすい。とりわけ、光村図書は教科書の活用方法が解説され、学習課題が捉えやすいよう配慮されている。また、随所に鑑賞題材や生徒作品をデジタルコンテンツで見ることができ、学習の参考となり、主体的な学習に取り組めるよう工夫されている。
 - ・ 光村図書は、我が国の美術作品や文化財が他社に比べ多数掲載されており、日本の文化や表現の特徴について理解を深められる内容である。道德及び他教科との関連を示す内容が掲載されている点や題材ごとに鑑賞を通して造形的な視点を育て、表現活動につなげる構成となっている点が良い。
 - ・ どの会社も幅広い分野で活躍する人物と美術との関わりを紹介することで、美術科での学びが幅広く社会で生かされることが期待できるものとなっている。その中でも、光村図書は、平和や人権問題、環境問題や地域文化など、命を大切にする心や他人を思いやる心を意識した題材、周囲と関わり合いながら学ぶ題材が取り上げられ、共に生きる人材の育成を目指すよう工夫されている。また、美術科の学習で身に付けたい資質や能力を踏まえて、題材ごとに学習目標と学習過程、学びの重点が明示されており、造形的な見方・考え方を働かせ、見通しをもって学習できるよう工夫されている。鑑賞中心の題材では全てにおいて順序だてた題材設定がなされており、系統立てて学習を深めることができる。各領域でのバランスもよく、表現や鑑賞の活動が行えるよう工夫されていることから、美術の教科書には、光村図書がふさわしいと思われる。光村図書を選定してはどうか。
 - ・ 協議の結果、全員一致で「光村図書」のものを選定する教科書として決定。
- 中学校技術科の報告
 - ・ 見本本の送付のあった東京書籍、教育図書、開隆堂の3社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。
- 中学校技術科の質疑
 - ・ あいちの教育の基本理念に資する特色はどうか。

- 3社とも、問題の発見・課題の設定・設計・製作の順に学習し、これらを通して、主体的に学ぶことができる。さらに、製作後にレポートを作成し発表させることで、協働的に学び、深く考えられるようになっており、まとめを通して様々な課題を解決し、自分らしく生きていく力を育むことができるように工夫されている。
- ・ 持続可能な社会に向けた内容はしっかり取り入れられているか。
- 3社とも環境問題やエネルギー問題について記述がされており、関連資料もあり深く学べるようになっている。また、これからの技術についての記述も各社特徴があり、生徒の興味・関心を高める工夫もされている。
- ・ デジタルコンテンツは、どのような内容が見られるようになっているか。
- 3社とも、それぞれのページの学習内容に応じたPDF ファイルや動画にアクセスできるようになっており、生徒の学びに向かう力を高められるようになっている。
- 中学校技術科の協議
 - ・ 3社ともそれぞれ良さがある。中でも、東京書籍は、デジタルコンテンツ・挿絵・イラスト・写真・図表が本文の記述に対応して豊富な配列がされており、適切に関連付けられている。特に、デジタルコンテンツについては、各所にある二次元コードから、関連した動画やシミュレーションなどを通して学びや理解を深めるような工夫がされていると感じる。
 - ・ 3社とも学習が系統的に構成されている。特に、東京書籍は、学びが繰り返されることで、発展的な内容になるよう組み立てられている。また、単元が問題解決的な学習で構成されている。問題解決カードや思考ツールの提案もされており、取り組みやすくなっている。生徒は、学習の見通しをもつことができ、主体的に学習できるような配慮が感じられる。
 - ・ どの教科書会社も、学習指導要領の内容を踏まえて、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで丁寧に編集されている。中でも東京書籍は、統一された問題解決の流れが示され、対話を通して、学習課題の解決ができるよう工夫されている。また、随所に、関連する他教科の学習が多くあげられており、技術と他の物事がどのように関わっているのか分かりやすくなっている。社会で活躍する技術に携わる人を技術の匠として紹介し、産業教育の重要性を意識できるようにしている。持続可能な社会の構築に向けた現代の社会生活や科学技術の進歩に対応した内容が示されている東京書籍の教科書を選定してはどうか。
 - ・ 協議の結果、全員一致で「東京書籍」のものを選定する教科書として決定。
- 中学校家庭科の報告
 - ・ 見本本の送付のあった東京書籍、教育図書、開隆堂の3社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。
- 中学校家庭科の質疑
 - ・ 学習指導要領の目標に「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う」と示されているが、そのためにどのような工夫がされているか。
 - 3社とも持続可能な社会の構築を目指す態度が養われるよう配慮されている。東京書籍では、巻末に「家庭分野とSDGs」を設けるとともに、編の最終章は持続可能な生活を目指した内容で構成されている。教育図書では、SDGsのロゴを関連するページに掲載し、持続可能な社会の構築について身近なことから行動につなげられるように工夫してある。開隆堂では、各内容の章末に「持続可能な生活」の節が設けられ、SDGsの目標とも関連させながら、家庭分野の学習を持続可能な社会に向けてつないでいる。

- ・ 生徒の学びに向かう力を高め、主体的に学習に取り組むためにどのような工夫がされているか。
- 東京書籍は、「やってみよう」「調べてみよう」などの活動を多く取り上げ、主体的に調べたり、友達と協働して比較・検討したりするための発問を設けるなど、深い学びが実現できるように工夫されている。教育図書は、「話し合ってみよう」「調べてみよう」など実践的・体験的な活動を通して学習できるワークが多く掲載されており、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。開隆堂は、「やってみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」など創意工夫する力を養う課題が配置され、問題解決型学習を通して主体的・対話的で深い学びを実践できるように工夫されている。また、親しみやすいキャラクターが学習案内や考えるヒントを促したりするなど、自分事として主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。
- ・ 消費者教育の取り扱いにはどうか。
- 東京書籍では、消費生活に関わる内容には消費者マークを付け、生徒の意識を高めるよう工夫されている。また、悪徳商法、消費者トラブルの事例をイラストや漫画で取り上げ、低年齢化する消費者トラブルの防止に役立つように配慮されている。教育図書では、消費生活に関わる内容には消費者マークを付け、生徒が消費者としての意識をもてるよう配慮されている。また若者の消費者トラブルの例を統計資料や具体例と共に掲載し、身近なこととして捉えることができるよう配慮されている。開隆堂では、消費生活の仕組みや売買契約、消費者の権利と責任について課題をもって学習できるように工夫した内容構成になっている。
- 中学校家庭科の協議
 - ・ 3社とも、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて課題を見付け、解決するという過程を経ていることは評価できる。中でも、東京書籍は多様な実習例を数多く取り上げ、製作や実習の学習では、デジタルコンテンツを効果的に活用し、実践的・体験的な学習ができるよう工夫されている。また、自他の健康や安全について考えることができる内容が充実しており、安全教育についても重視された内容となっている。
 - ・ 東京書籍は、自分自身の生活を切り開くために、学習内容と自分、社会との共生へ結びつけていく内容になっており、学びを生活に生かすことができるように構成されている。様々な資料を示して、現代の社会生活や科学の進歩に対応した内容が示されている。また、単元ごとに家庭分野の学習とSDGsとの関わりが示されている点も評価できる。
 - ・ どの会社も愛知の教育の基本理念の観点で考えると、多様な考え方や価値観を尊重しながら自分らしく生きることの尊さを示し、地域や社会に目を向けさせ、学んだことを社会に生かしていく態度を養うよう工夫されている。特に、東京書籍の教科書は、自分の身の回りの生活と、自然環境や国際社会等との関わりを通して、持続可能な社会を目指す態度が養われるよう配慮されている。また、自分らしく生きることの尊さを示すことで、主体的に思考・判断・表現しながら多様性への理解が深まるよう工夫されている。このような点から、育成したい能力を身に付けるのに適していると言える。東京書籍の教科書を選定してはどうか。
 - ・ 協議の結果、全員一致で「東京書籍」のものを選定する教科書として決定。
- 中学校保健体育の報告
 - ・ 見本本の送付のあった東京書籍、大日本図書、大修館書店、学研の4社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。
- 中学校保健体育の質疑

- ・ 今日的な課題について学ぶことができるように配慮はされているのか。
- がん教育については、どの教科書も本文中だけでなく、章末に資料やワークシートなどが用意されている。大日本図書は、協働学習ができるようなワークシートが用意され、発展的な学習ができるようになっている。SDGsについては、東京書籍と大修館書店が巻頭で特集記事として扱っており、生徒の興味関心を高める内容となっている。性の多様性については、東京書籍、大修館書店、学研が章末資料で取り扱っており、多様性の尊重や共生の視点を身につけることができる内容となっている。熱中症については、各教科書が取り上げるとともに、具体的な対処法や予防法について、章末などの特集ページを用意し、実際の生活でも生かせるよう工夫されている。大日本図書は見開きページで暑熱順化や個人差に留意することなども取上げ、重点的に学習できるようになっている。
- ・ デジタルコンテンツの工夫はどうだったか。
- 各社動画コンテンツで実技を確認したり、Web上のワークシートなどを活用できたりと充実している。東京書籍は動画による資料だけではなく、疑似体験を行うことや、思考ツールの活用や関連する他教科のリンクに接続できることもあり、学びを深めるための工夫がされている。教科書会社により違いはあるがアプリを使ったりすることなどで代替ができるため、そこまで問題にはならないと考える。
- ・ 生徒が課題意識を持ち、主体的に学ぶためにどのような工夫がされているか。
- どの教科書も学習目標やねらいを提示し、学習課題をつかむことができる構成となっている。また、関連する写真やメジャーリーガーの大谷選手や棋士の藤井さんなど、生徒にとってなじみのある人のエピソードが書かれた資料が用意されており、生徒の興味関心を高める工夫がなされている。さらに章末には、個に応じた学習を進めることができるような資料やまとめも用意されている。学習したことを広げたり、深めたりできる内容となっている。大日本図書は、ミニ知識や発展などの読み物や資料があり、個に応じた学習内容が深められるようになっている。
- 中学校保健体育の協議
- ・ どの教科書会社も、学習指導要領の趣旨にのっとり、心と体を一体として捉え、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てられるよう工夫してある。中でも大日本図書は、主体的・対話的で深い学びができるように工夫されており、深い学びになるように、個に応じた学習内容を深めることができるような内容になっていたり、どんな視点で話し合いを行うとよいかを示されていたりと工夫が感じられる。
- ・ 各社よく工夫されている。大日本図書は、特にアスリートをはじめとした世界で活躍する人物を多数紹介しており、これからの人生をたくましく生きようとする意欲を引き出すように工夫されている。また、実習の内容では、写真を用いて、視覚的にわかりやすい説明がされている。日常生活にもいかすことができるよう、充実していると感じられた。
- ・ 保健体育では、生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うことを目指している。大日本図書は、見開きページで左側ページが本文、右側ページが資料となっており、本文と資料のバランスも良い。生徒だけでなく、教師も使いやすく、学習しやすいように工夫されている。また、4段階での学習の流れになっており、資質・能力を育てる活動がバランスよく配置されている。活用して深めようでは、自分自身や身近な生活に返していくことで、自分事としてとらえられる構成になっている点が、運動能力テストが全国的に低い愛知県、運動不足の現代人の生活を考えると、少しずつ将来の生活へもつながっていくと感じられる。総合的に考えると、大日本図書を選定してはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で「大日本図書」のものを選定する教科書として決定。

○ 中学校外国語（英語）の報告

- ・ 見本本の送付のあった東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の6社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。

○ 中学校英語の質疑

- ・ 小学校外国語から中学校のつながりについては、どのような工夫がされているか。
 - どの教科書も小学校の既習事項が明確に示されており、それを基盤として学習を進めることができる。特に、東京書籍の表示の仕方は単語や文法のみにとどまらず、コミュニケーションの方法においても明確に提示されており、生徒が円滑に取り組みやすい構成となっている。
 - ・ 他国の文化にも興味や関心をもたせ、グローバルな視野を養わせるために、どのような配慮がされているか。
 - すべての教科書が多く分野に渡り様々な内容を取り上げており、協働的な学習を通して自分の視野を広げて考えを深めることができるような配慮がされている。特に東京書籍では、今日的な喫緊の課題も多く扱われており、将来的な社会参画にもつなげられることが期待できる。
 - ・ 個別最適な学びや協働的な学びを実現するために、どのような工夫がされているか。
 - どの教科書も各単元の最後のパフォーマンステスト等において、各自で興味関心のあるものについて探究するシステムになっており、個別最適な学びにつなげられる。また、社会問題を題材として扱ったり、グループ活動なども多く設定されたりしているので、協働的な学びの実現につなげられることが期待できる。
- 中学校英語の協議
- ・ 東京書籍では、人物の国籍、題材などが多様な世界の国々から設定されている。そのため、文化に対する理解の深まりと主体的なコミュニケーションを図ろうとする態度の育成ができるような内容になっている。また、既習事項をスパイラルに学習できるように工夫されており、基礎・基本の確実な定着を図りながら、目的・場面・状況に合わせたコミュニケーション能力が育成できることが期待される。
 - ・ どの教科書も、4技能5領域をバランスよく配置しており、統合していく過程で平易な表現から難しい表現へと段階的に高める工夫がされている。特に、東京書籍では、巻末資料が充実しており、イラストや写真が豊富で多岐に渡っている。デジタルコンテンツが非常に充実しており、学びを深められる内容である。
 - ・ 外国語で表現し、伝え合うためには、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わり、コミュニケーションに着目して捉える必要がある。ただ単に言語活用のツールを学ぶだけではなく、同時に文化も学ぶことが求められる。各社、様々な良さはあるが、東京書籍は、対話的な活動が非常に充実している。文化に対する理解の深まりと相手を意識した主体的なコミュニケーションを図ろうとすることが育成できるようになっている。また、グローバルな視点を持ち、自国の理解を深められるよう工夫されている。さらに、デジタルコンテンツを含め、資料が豊富で小学校からのつながりもよい。東京書籍を選定してはどうか。
 - ・ 協議の結果、全員一致で「東京書籍」のものを選定する教科書として決定。

○ 中学校道徳の報告

- ・ 見本本の送付のあった東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版、学研、あかづき教育図書、日本教科書の7社について研究し、報告（学習指導要領との関連、あいちの教育の基本理念との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜等、印刷・造本等）。
- 中学校道德の質疑
 - ・ 生徒にとって使いやすい、読みやすい教科書であることが大切だと思いますが、実際に指導する立場から感じたことはあるか。
 - 各社とも、ユニバーサルデザインを重視し、文字の大きさやフォントに至るまで配慮が見られ、どの生徒にとっても使いやすく、読みやすい工夫がなされていることを再認識した。また、内容が理解しやすいよう、挿絵やデジタルコンテンツによる資料提示や朗読など、視覚的聴覚的に内容理解を促す工夫も多く見受けられた。各教材が適度な文章量であり、1授業時間で実施する道德の授業において扱いやすい量となっている。教材の最後には、授業の重点として考えていけるような流れや発問が明記されており、考え議論する道德をどのように行っていくとよいのかとても参考になり、指導する立場からとてもありがたいと感じた。
 - ・ デジタルコンテンツの内容や考えられる効果はどのようなものか。どのような工夫がされているか。
 - 各社とも、教材に関係する動画や資料を用意し、学びをさらに深めていくことができるように工夫されていた。これまで以上に、より身近な題材、実生活に即した内容が多く盛り込まれ、動画や資料から、効果的に自分事として考えられるような工夫が随所に施されていた。ゆえに、生徒が自らの課題として捉えることができるよう大いに配慮された改訂となっている。
 - ・ あいちの教育ビジョンにある、自らを高めること、社会の担い手となることのために、地域社会への理解が深められる道德教育が必要だと思われる。これらについて、どのように取り扱われていたか。
 - 各社、いじめ問題、情報モラル、環境、人権などのテーマから、SDGsの観点を踏まえ考えられるよう十分に配慮されていた。特に、SNSや人権、大規模災害などの現代的な身近な問題に触れたり、ふるさとの抱える問題から伝統を守っていく重要性を考えたりするなど、自分の考えをしっかりともち、広い視野で判断できる子どもたちの生きる力を、子どもたちの関心から引き出しやすいよう工夫がされていた。
- 中学校道德の協議
 - ・ 道德は、多様な考え方・価値観・生き方にふれることで生徒自身が社会において、よりよく生きるために自分を見つめ直すことが大切である。そのように学びのできる教科書が望ましい。各社よく工夫されているが、中でも教育出版については、現代的な課題を題材とした教材や生徒にとって身近に感じられる教材が複数配置されており、道德的価値を自分事として捉えられる内容が選択されている点が良い。
 - ・ 道德の授業に生徒が意欲的に取り組むには、使いやすいとか読みやすい教科書という観点はとても大切なことである。各教科書とも、ただ単に教材文を掲載するだけでなく、写真やイラスト、本文をより深く理解する上で有効な挿絵や資料などを掲載し、生徒にとって使いやすい、読みやすい工夫がされていると感じる。中でも、教育出版は、写真や挿絵、漫画など多様な資料を掲載することで、生徒は理解しやすく、主体的かつじっくりと教材に向き合い、考えを深められるように配慮されており、最適ではないか。
 - ・ 道德では、道德的価値をいかに、生徒が自分事としてとらえ、これからの自分の生き方を見つめ、考えることができるかが大切である。教育出版は、現代社会の課題に即して、生徒が共感したり、身近に考えたりできる教材も多く掲載されている。また、人としての在り方や生き方について考えるために、内容が理解しやすい教材が多い。体験的な学習として、役割演技やグループワーク等の多様な学習方法にも対応しており、生徒が多面的・多角的な学びができるように工夫されている。このような点から、教育出版を選

定してはどうか。

- ・ 協議の結果、全員一致で「教育出版」のものを選定する教科書として決定。

5 連絡、依頼事項

- 資料の取り扱いなどに関する連絡
- 採択協議会事務局のローテーションについて

6 閉 会

- 閉会宣言